

## 平成 30 年 10 月 報道機関との定例懇談会 要旨

### □ 情報提供項目

青森県鱒ヶ沢町との歴史文化で結ぶ友好協定締結、栃木県大田原市との災害時相互応援に関する協定締結、久慈地方産業まつりの開催、久慈市総合防災訓練、新卒雇用者支援奨励金贈呈式、リトアニアナショナルチーム選手交流事業について市長が説明したほか、10月の行事予定、イベント情報などについて報道機関にお知らせしました。

### □ 記者との質疑応答

記者：10月27日開催の「地域づくり交流・連携フォーラム」はどのような目的、内容か。

回答：県の事業で、NPO 法人が受託して開催する。内容は、NPO の活動紹介、参加者の名刺交換など交流を深めるもの。地域を元気にし、活性化することを目的に開催する。

記者：リトアニアナショナルチームとの交流があるが、市として東京オリンピックの関係で希望している事業はあるか。

回答：2年前の台風10号の復旧工事等途上にあるので、オリンピック関連の事業など受けていない。

リトアニアとは、来年、姉妹都市締結30周年となることもあり、リトアニアを応援することでオリンピックに協力していきたい。リトアニアは平塚市メインでキャンプ等するが、久慈市に選手の皆さんが来た際には歓迎したい。

今回は、柔道選手との交流になるが、これを契機に、柔道競技に限らず、リトアニアの選手の応援体制を子ども達を含めてつくりたい。リトアニアの方も応援のため来日すると思うので久慈市に来てもらえるようにしたい。

記者：来年のリトアニアの姉妹都市締結30周年の節目に市からの訪問団の派遣等の予定はあるか。

回答：6月にリトアニアでオリンピックデーがあり、平塚市等も訪問する話もある。久慈市で訪問する際は、市民の皆さんに参加を募りたい。

記者：市の空き家バンクの登録が累計29件、うち成約が3件と少ないようだ。市内に空き家がどれくらいあり、住めないような空き家は何件あるか。なぜ、空き家バンクの登録が進まないのか。

回答：H28年に実施した現地調査では、市内に空き家と思われる件数は、1475件。そ

のうち、現状で利活用可能な物件は 876 件、修繕等で利活用可能な物件は 459 件、  
住めなくなっている状態の物件は、140 件であった。

記者：空き家バンクの登録が少ないようだ。

回答：市内の空き家の中には利活用できる物件もあるようなので、空き家対策担当課  
と連携して、空き家バンク登録を拡充したい。

以 上